

授業科目名	初等生活
科目番号	CB23641
単位数	1.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	夏季休業中集中
担当教員	遠藤 優介, 片平 克弘
授業概要	小学校生活の教育目標について考察する。指導計画作成の手順の例を説明し、その手順にしたがって班毎に作成した指導案を発表させ、改善案を全員で検討する。受講生に意見を求めたり、指導案の発表なども行う予定である。また、実際にビデオ等で撮影した映像を分析しながら、今後あるべき生活の授業についても検討する。
備考	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 詳細後日周知 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学的実践力
授業の到達目標（学修成果）	小学校生活の教育目標を理解する。 小学校生活における指導方法を理解する。 小学校生活における評価手法を理解する。 小学校生活の1時間分の指導案を作成する。
授業計画	生活科で取り扱う内容に関して、具体的な学習テーマに即して、検討する。 第1回 小学校生活の目的・目標(目的・目標) 第2回 教科「生活」設置の歴史(設置の経緯) 第3回 生活のカリキュラム(カリキュラムの内容) 第4回 生活のカリキュラム(カリキュラムの構造) 第5回 生活の教授・学習過程(教授過程) 第6回 生活の教授・学習過程(学習過程) 第7回 ビデオを通して見る生活科の授業(授業の批判的検討) 第8回 生活科における評価の実際(ポートフォリオ評価) 第9回 生活科の学習指導案の検討(指導案の構想) 第10回 生活科の学習指導案と授業の検討(指導案の作成と実践授業)
成績評価方法	レポート・授業中の小課題（80%）と授業参加への積極性（20%）を総合して判断する。 総点において90点以上をA+、80点以上90点未満をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をDと評価する。 なお、出席回数が授業全体の2/3未満である場合には、評価の対象としない。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業内で扱った内容に関して復習をすること。
教材・参考文献・配付資料等	1、2の文献については、講義が始まる前まで、購入しておくことが望ましい。2に関しては、本講義の担当者が執筆に関わっており、最新の内容を学ぶことができる。 1. 文部科学省、『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説生活編』、東洋館出版社、2018年。 2. 片平克弘・唐木清志編著、『MINERVAはじめて学ぶ教科教育10 初等生活科教育』、ミネルヴァ書房、2018年。 その他、適宜印刷資料を配付する。
オフィスアワー等（連	遠藤（木曜13:00～14:00）人間系学系棟B422

絡先含む)	片平 克弘
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	授業時間外においても生活科教育に係る事柄に関心を持ち、関連の情報に積極的に接している事。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	TA配置有り(1名)
キーワード	小学校生活、教材開発、指導案作成、評価